

## 令和元年度宍粟市子ども・子育て支援事業計画の実績について

### ■地域子ども・子育て支援事業

(令和2年3月末現在)

事業名	R元年度計画	R元年度実績		計画との差 (B)-(A)	R元年度の実施状況
	量の見込み(A)	提供量(B)	利用希望者数		
①利用者支援事業 【保健福祉課】	2か所	2か所	2か所	0か所	母子保健型と基本型と2類型開所し、妊娠期から子育て期まで母子保健や子育て支援センター等と連携を取りながら包括的に切れ目なく支援を行っている。基本型は、子育て専門員によって子育てに関する相談や子育て情報の提供を行い、母子保健型は、特に支援が必要な母子に母子保健コーディネーター(保健師)が中心となって支援の調整等を行っている。
②時間外保育事業 (延長保育事業) 【こども未来課】	100人	111人	111人	11人	認可保育所6園・こども園1園 実利用人員111人/延べ4,612日
③放課後児童健全育成事業 (学童保育所) 【こども未来課】	338人	287人	287人	△ 51人	公立学童保育所11所244人(利用定員420人) くりのみ学童クラブ 43人(利用定員 57人) 【利用定員の改正】 R2.4.1 誠心学園保育園学童教室 利用定員19人増
④子育て短期支援事業 【保健福祉課】	0人	0人	0人	0人	必要な事例があった場合に事業の利用が出来るように近隣の市町にある複数の児童養護施設等と委託契約を締結している。令和元年度は利用が必要な事例はなく利用もなかった。
⑤乳幼児家庭全戸訪問事業 【保健福祉課】	199人	185人	185人	△ 14人	保健師による全乳児を対象とした訪問を行っている。里帰り等のため、市内にいない乳児に関しては在住している先の母子保健担当へ依頼し訪問を行ってもらう体制となっている。出生数の減少により提供量が少なくなっている。
⑥養育支援訪問事業 【保健福祉課】	5人	0人	0人	△ 5人	必要な事例があった場合に事業の利用が出来るように体制は整えているが、必要な事例はなく利用もなかった。母子保健として保健師が継続して関わる必要がある場合は、訪問し相談や指導を実施している。

## 令和元年度宍粟市子ども・子育て支援事業計画の実績について

### ■地域子ども・子育て支援事業

(令和2年3月末現在)

事業名	R元年度計画	R元年度実績		計画との差 (B)-(A)	R元年度の実施状況
	量の見込み(A)	提供量(B)	利用希望者数		
⑦地域子育て支援拠点事業 【保健福祉課】	438人	499人	499人	61人	市内4か所の子育て支援センターで、親子のグループ活動や子育て講演会、イベント、子育て相談等を実施し親同士の交流を促進することで、子育て支援を推進している。
⑧一時預かり事業 (幼稚園在園児対象) 【こども未来課】	15,893人	10,892人	10,892人	△ 5,001人	幼稚園3園・こども園4園 実利用者80人／延べ10,892人
⑧一時預かり事業 (幼稚園在園児以外) 【こども未来課】	1,864人	1,705人	1,705人	△ 159人	認可保育所4園・こども園4園 実利用者56人／延べ1,705人
⑨病児・病後児保育事業 【社会福祉課】	996人	15人	15人	△ 981人	開設日:令和元年10月25日 運営:委託 場 所:宍粟市山崎町鹿沢91番地20 宍粟総合病院所有の施設(医師用官舎)を改修 利用登録者:61人 利用料:1,000円/1日 制度の広報や周知を図り、利用しやすいように当日受付も可能にするなど、見直しも行ったが、利用者は少ない状況である。
⑩ファミリーサポートセンター事業 (就学児のみ) 【社会福祉課】	550人	294人	342人	△ 256人	会員数:243人 (お願ひ会員:117人、まかせて会員:109人、両方会員:17人) 活動回数:806件 交流会・講習会:2回 主な利用:学童保育所及び塾の送迎など
⑪妊婦健康診査事業 【保健福祉課】	2,376人	1,777人	1,777人	△ 599人	母子健康手帳交付時に14回、93,000円分の妊婦健診助成券を交付し県内産婦人科受診時には自己負担がほとんどなく受診でき、経済的理由に関係なく妊婦健診を受けることが出来る体制となっている。県外医療機関で妊婦健診助成券を利用できない場合は償還払いにより負担支援を行っている。母子健康手帳交付数の減少により提供量が減少している。